

第 2 1 5 回 J M R C 中部運営委員会報告書

開催日時 2 0 1 1 年 3 月 2 日 (水) 2 0 : 0 0 ~ 2 2 : 3 0

開催場所 名古屋市昭和区福江 J A F 中部本部 3 F ミーティングルーム

《議題》

- 1 . 各委員会部会報告
- 2 . 2 0 1 1 年 JMRC 中部代表者会議の付託事項について
- 3 . スポーツ安全保険について
- 4 . その他

《議事》

1 . 各委員会部会報告

【ジムカーナ部会】

2 月 2 6 日キョウセイドライバーランドに於いて部会を開催

- ・ジムカーナレッスンの日程調整と、本年度のスケジュールを決めた。
- ・逆ピラミッド化を防ぐため本年より地方選手権の参加台数を 1 0 0 台に絞った結果エントリー台数が 8 7 台となってしまった。
- ・チャンピオンシリーズ、東海シリーズ、北陸シリーズの活性化について検討を行った。
- ・ジムカーナレッスンを振興事業の一環として捕らえ JMRC として補助をして欲しいとの要望があった
- ・東海シリーズ第 1 戦が積雪のため 5 月 1 日に順延となった。

【ダートトライアル部会】

2 月 6 日に小牧市勤労センターにて開催された。

- ・本年度の JMRC 中部地方選手権の申し合わせ事項の確認を行った。
- ・選手権クラス区分のポイント集計はクラス区分の異なる JMRC オールスターに選出するための資料として各オーガナイザーにオールスタークラス (全日本と同じ) が分かるようにデータを担当者に渡すことにした。
- ・コース審判員のライセンス番号について管理を行う旨の確認を行った。
- ・2 0 1 0 年度の会計報告を行い承認された

【ラリー部会】

- ・1 月 8 日 (土) に表彰式会場にて行った。
- ・部会ではラリー振興策について検討。シーズン終了後忘年会のようなことを行ったらどうかという意見が出た。
- ・3 月 6 日に行われる新城ジュニアラリーの後に近畿のラリー部会と合同で会議を行う予定。

- ・新城ジュニアラリーは準備期間が短かったが昨年よりも台数が増えた。SS 観戦付きの B ライ講習会も行う予定。

【レース部会】

- ・ 2月5日に部会を開催してレスキュー講習会の打ち合わせを行った。2月13日に鈴鹿サーキットピット棟において開催したレスキュー講習会では31名（内鈴鹿サーキット職員4名）が受講され無事終了した。当日のレポートは近日中にホームページに掲載予定。

【MS 振興担当】

昨年の事業報告。本年度も昨年同様見学会を行う予定。予算の使い方は検討中だが各クラブの台所事情が苦しい中で一時的使ってしまうようなことでは理解が得られないと思う。予算の執行は慎重に行うので内容については一任を頂きたい。

【審査委員グループ】

2月6日に第1回の会議行い公式通知の発行手順について確認を行った。各部会の事務局は再確認をお願いしたい。また、JAF 国内競技規則（通称赤本）が原則ダウンロードになったので主催者は必ず購入するかあらかじめダウンロードをするよう併せてお願いしたい。

また本年度はジムカーナの地方選手権が1戦増えているので交通費の補正予算を計上予定。

【総務広報委員会】

2月3日に総務委員会を開催。JMRC 代表者会議の議事録と表彰式、懇親会、サーキット走行会のレポートを作成した。また、本年度の計画について報告を行った。

ホームページについては更新作業の担当を分散化して情報伝達のスピードアップを図る予定。具体的には部会毎に専用ページを持って頂き、部会からの情報発信は部会の責任で更新して頂く事になる。システムは汎用の CMS を導入予定。サーバスペックが不足する場合は予算をつけて頂きたい。5月中には試験運用を開始し2012年度からの本格運用を目指す。

【JAF 登録部会】

2月24日に会議を行った。昨年末より国際ライセンスの取得が厳格化。従来、国際 B の取得には国内格式のレース経験で良かったが国際 C 格式のレース経験が必要とされるようになる。新興国が国際 B を乱発しているのが原因のようだが日本国内には国際 C 格式のレースが無い。引き続き FIA に緩和を働きかける予定。

【JAF 技術部会】

2月2日に部会が行われた。6月の部会では国内車両規則の N1 と N2 車両規定を変更する予定。何かご意見があればメールを頂きたい。また HANS について中国で偽物が出回っている模様なので注意をお願いします。

2．代表者会議から付託された事項について

【決算書の明細開示について】

決算報告の明細と一部訂正した物をクラブ宛に郵送した。

【JMRC 会費の値下げ要求について】

JMRC 会費の値下げについては今後の共済会のあり方（スポーツ安全保険に加入するか否か）に密接に関係してくる事項なのでそちらとともに検討することとした。

3．スポーツ安全保険について

スポーツ安全保険は JMRC 関東、近畿がすでに導入をしている。他の地区も追随する見込み。従来の共済会に比べ低額の掛け金で手厚い補償額。幹事会社は東京海上日動火災保険ほか 9 社。加入人口 1 0 0 0 万人と安定的。もちろんモータースポーツも範囲内である。

非常に良い保険であり JMRC 中部も将来的には加入するメリットが多い。しかし中部の場合、共済会が機能しておりその取り扱いについては十分な議論が必要である。議論の結果、この会議では結論に至らずスポーツ安全保険についての集中審議を行うため 4 月 5 日（火）に臨時運営委員会が招集された。

以上

報告 総務広報委員長
石井 公久